

# 平成30年度春日井市地域自立支援協議会

## 「医療的ケア児について」

愛知県心身障害者コロニー こぼと学園  
協会認定重症心身障害看護師 今井泰子

平成30年11月26日



# 医療的ケアとは

痰の吸引や経管栄養の注入など、  
日常生活をする上で必要とされる  
医療的な生活援助行為のこと

# 医療的ケア児とは

NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃瘻等を使用し、痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障害児のこと

# 重症心身障害とは

重度の知的障害  
及び

重度の肢体不自由  
が重複した状態

障害度分類 (大島の分類)					(IQ)
21	22	23	24	25	80
20	13	14	15	16	70
19	12	7	8	9	50
18	11	6	3	4	35
17	10	5	2	1	20
					知的障害
走れる	歩ける	歩行障害	座れる	寝たきり	
運動障害					

# 重症心身障害と医療的ケアの相違

	医療依存度	肢体不自由	知的障害
重症心身障害	医療依存度が高い者と低い者が混在（医療依存度は問題ではない）	重度の肢体不自由であることが条件	重度の知的障害であることが条件
医療的ケア (高度医療依存)	例外なく医療依存度が極めて高い	肢体不自由であるとは限らない（内部機能障害などの者も）	重度の知的障害であるとは限らない（知的障害は軽度またはない者も）

第4回報酬改定検討チーム 全国医療的ケア児者支援協議会提出資料（抜粋）より

# 医療技術の進歩によって変わっていく子どもたちの病態

## step1

歩けないし話せないが、日常的には医療機器や医療ケアは不要な子どもたち（重症心身障害児）

## step2

歩けないし話せない上に、日常的に医療機器や医療ケアがないと生きていけない子どもたち（超重症心身障害児）

## step3

歩けるし話せるが、日常的に医療機器と医療ケアが必要な子どもたち（呼称がない）

医療技術の進歩

福祉制度・社会制度

# 法の改正 ①

平成24年4月より

**「介護職員等によるたんの吸引等研修」は、一定の研修を受け、一定の手続きを踏むことで、合法的に実施できるようになった**

**※特別支援学校における教員も適応**



**医療的ケアの急増 多様化により、この特定行為である「たんの吸引」「経管栄養」以外の医療的ケアが求められている**

## 法律の改正 ②

医療的ケアを要する子どもの増加と多様化に対応できるよう、平成28年6月に児童福祉法を改正し、それに基づく通知をしている

### 児童福祉法第56条の6第2項（平成28年6月交付）

「地方公共団体は、人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために**医療を要する状態にある障害児**が、その心身の状況に応じた適切な保健、医療、福祉、その他の各関連分野の支援を行う機関との連絡調整を行うための体制の整備に関し、必要な措置を講ずるよう努めなければならない」

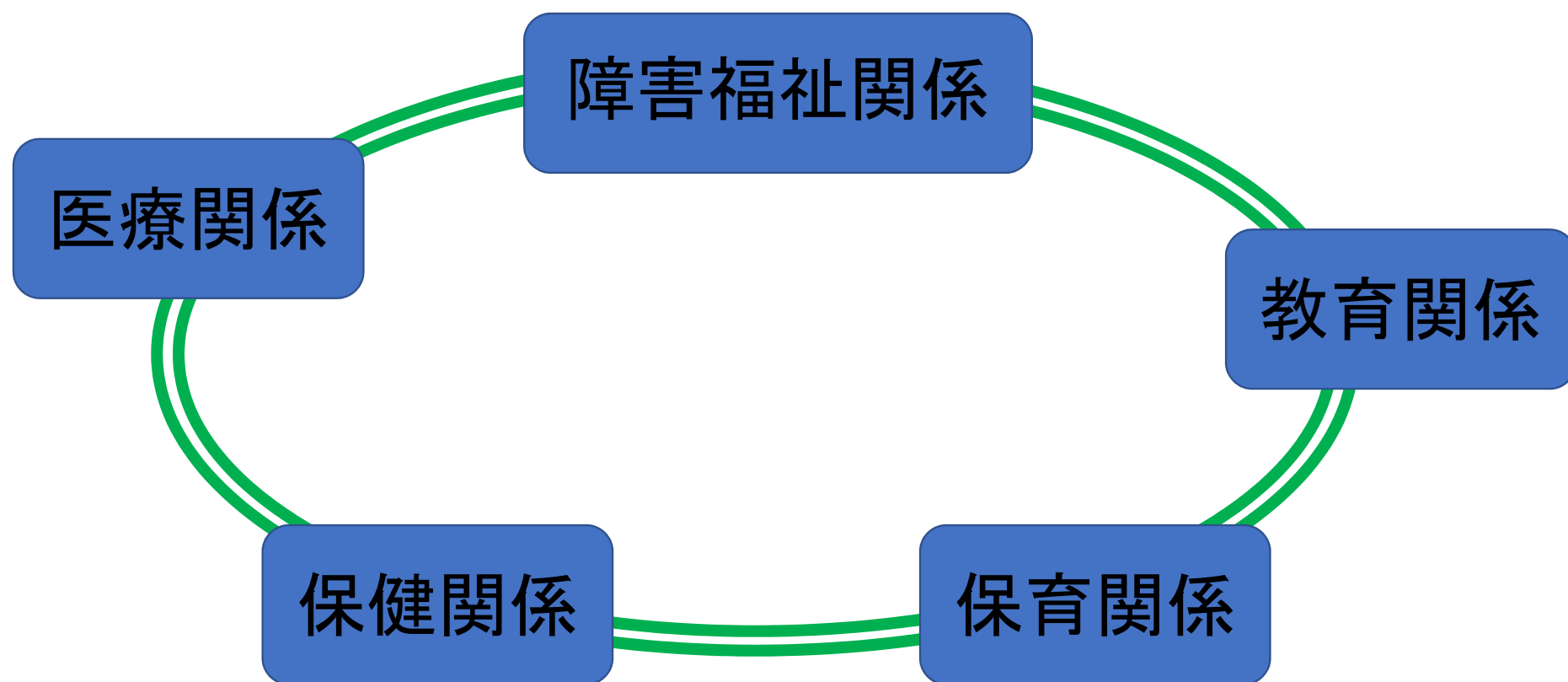


# 医療的ケア児とその家族が直面している現状と課題

～Wings医療的ケア児などのがんばる子どもと家族を支える会～より

- 相談する相手がいない
- 公的な支援制度が整っていない
- 保護者（特に母親）が仕事を辞めざるを得ない
- 子どもに十分な発達・発育の環境が与えられていない

# 地域における医療的ケア児の支援体制の整備



# 重症心身障害児者の健康上の問題

•呼吸

気管切開・吸引・人工呼吸器  
経鼻エアウェイ・酸素療法

•摂食・栄養

経管栄養（鼻・胃・腸）

•てんかん

•排泄障害

痙攣多発の対応（坐薬の挿入）

•筋緊張異常

導尿・人工肛門

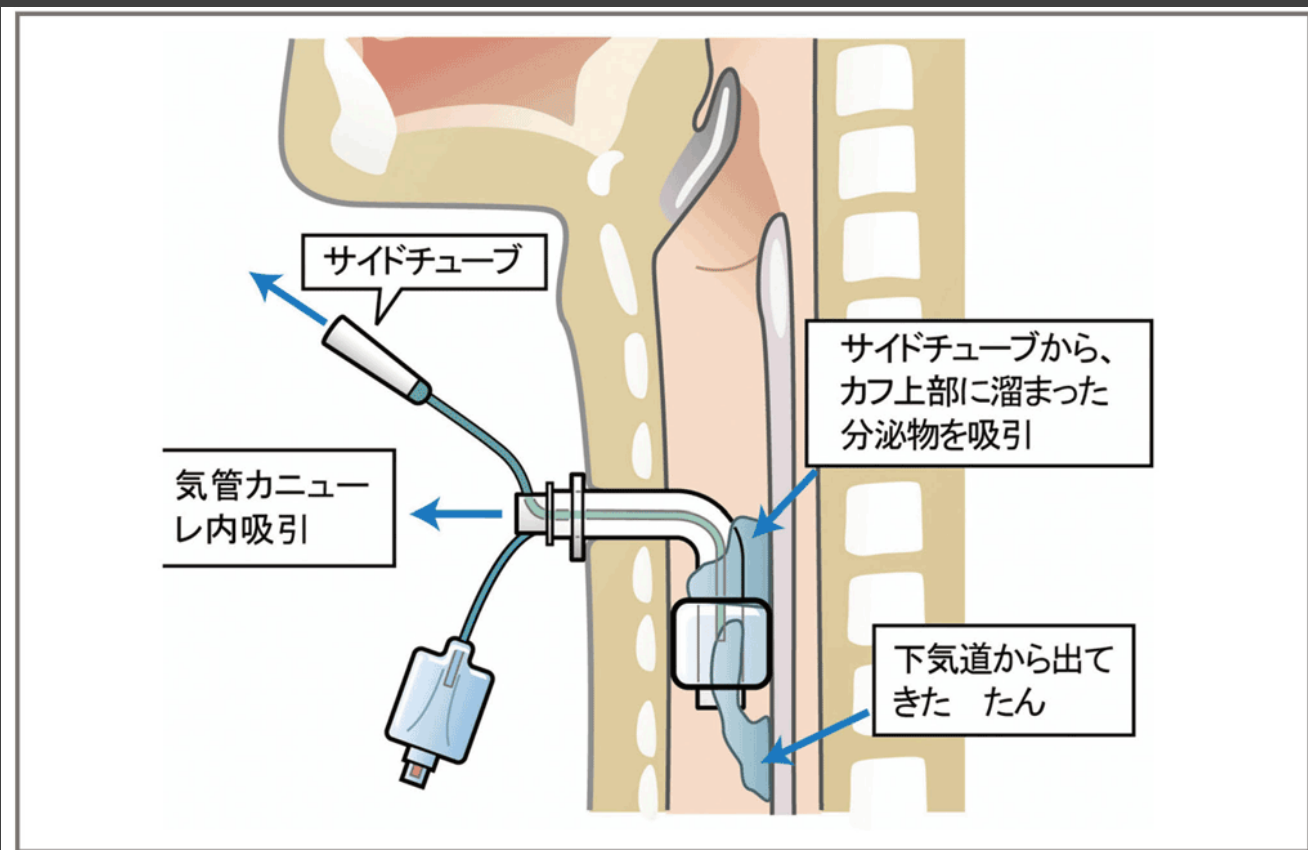
•骨折

筋緊張亢進へのケア

•コミュニケーション など

# 気管切開

気管とその上部の皮膚を切開してその部分から気管にカニューレを挿入する気道確保の方法



# カニユーレの種類



# 人工呼吸器

呼吸を人工的に管理するための医療機器

用途に合わせて様々なものがある



## 吸引（痰などを除去する方法）

- ・重症児者は、思いっきり空気を吸うことや、咳ができない
- ・嚥下障害があり、鼻や気管の分泌物を飲み込むことができない



分泌物が溜まる  
呼吸しづらくなり苦しくなる  
誤嚥し肺炎となる



→ 更にたんの量が増える



**吸引してたんの排出を助ける必要がある**

# 経管栄養（栄養剤を注入する方法）

誤嚥をし、誤嚥性肺炎を繰り返すと適応となる  
しかし、嚥下障害の程度によって対応は異なる



「食べる」ことは、「栄養を摂る」ことだけが目的ではない。  
「食べる」ことが「人生の楽しみ」「生きがい」としている  
方も多い  
子どもに美味しいものを食べさせたいと願う親も多い。



# 経管栄養の種類①

・ 口腔ネラトン法



・ 経鼻栄養



## 経管栄養の種類②

- 胃ろう



- 腸ろう



# 重症心身障害児者の抱える医学的問題

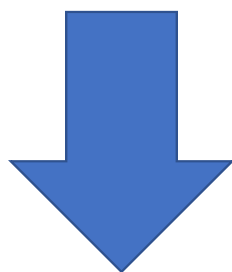
- ・ もともと複数の病気を併せ持っている
- ・ 抵抗力が弱く病気にかかりやすい
- ・ 急変しやすく、重症化しやすい
- ・ 生命維持機能に障害がある場合が多い
- ・ 体調が悪いことを言葉で表現できず、発見が遅れる
- ・ 運動能力・コミュニケーション能力に障害があっても、周囲の環境や相手の感情に敏感である
- ・ 僅かな環境の変化や侵襲により体調を崩しやすく、悪化し、重症化しやすい



感染防止  
日々の観察と異常の早期発見が大切



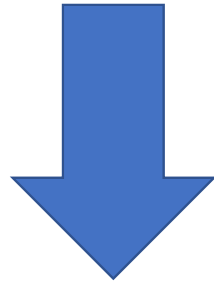
**重症児者の状態や体調の変化を適切に  
評価・判断するには？**



**普段の心身の状態が  
どのようなものであるか  
把握することが重要**



**日常の安定状態は利用者ひとりひとり異なる**



**個々の状態をしっかりと把握し、  
チーム間で共有することが重要**

あれっ？いつもと何か違うかと  
気づくことができるように



# 重症児者と接する時のポイント

## 五感を研ぎ澄ます

重症児者が表現するサインに**気付く**



## 直感

経験と学習に基づく無意識で行う迅速な推論

客観的な症候サインを探し回る  
とにかく重症児者と接し、ちょっとした「変だな」という  
感覚を軽視せず「危険かもしれない」と積極的に疑う姿勢



# どんなに重症な方も発達している

- 「療育」の重要性

医療・看護・福祉・教育・リハビリ等、  
多職種が協働して成長発達を支える

与えられた命を輝かせる

- どんなに重い障害があっても、その人なりのスピードで成長発達していることを理解する
- 「変化」に敏感になり「声のない声にも耳を傾ける姿勢」  
「自分本位でない支援」を心掛ける

寄り添う心



# ライフステージに応じた支援

- 1) 就学前（乳幼児期）：NICU、PICUから地域への移行
- 2) 学齢期（小・中学校）：特別支援学校、通常学校、支援学級、療育専門施設との連携
- 3) 青年期～成人期：成人在宅医との連携・トランジション

『平成28.29年度小児在宅ケア検討委員会報告書』より



# 主な参考文献

- 平成28.29年度小児在宅ケア検討委員会報告書  
日本医師会 小児在宅ケア検討委員会
- 厚生労働省  
平成29年度医療的ケア児等の地域支援体制構築に係る担当者合同会議  
医療的ケアが必要な障害児への支援の充実に向けて
- Wings医療的ケア児などのがんばる子どもと家族を支える会  
～あなたは医療的ケア児の家族が置かれている状況を  
知っていますか？～本郷朋博